

沖縄の長寿企業の意識調査（2）



おきなわFB短信（24） （1分間で読めます。）

平成22年1月8日（金）

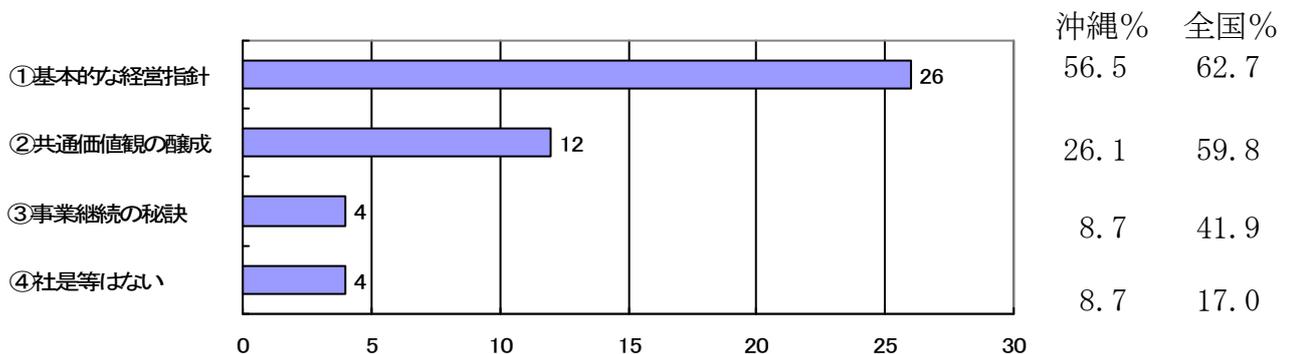
沖縄の長寿企業の意識調査（1）の続きです。よろしくおつきあいをお願い致します。

調査を行った理由は、沖縄の長寿企業（ファミリービジネス）は地域発展の原動力となると考えたからである。

前回、沖縄の代表的長寿企業（平均存続期間77年）は、過去において幾多の危機を克服して現在に至っており、そのDNAは100年以上とした。

それらの企業の経営上の特色をあげると社是等の重視と人材の育成である。

社是、社訓、家訓の意義は？（不動の精神的基礎）



（全国は帝国データバンク「伸びる老舗、変わる老舗」から部分引用）

コメント

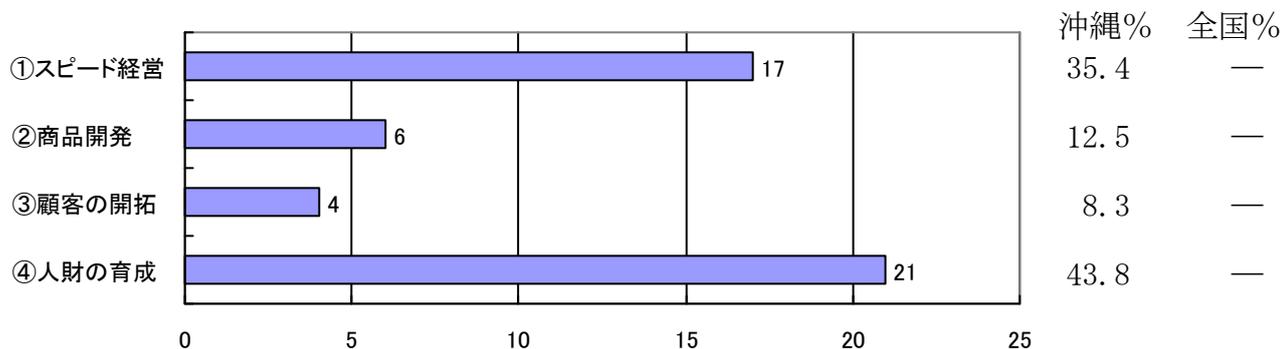
社是等という不動の方針を基礎にして、動という事業を展開しているのが長寿企業（ファミリービジネス）である。

80%以上の会社、特にアンケート回答会社は90%以上が社是等を有している。社是等の役割の最上位は、「基本的な経営指針」を体現し、会社における共通価値観の醸成に役立っているものと思われる。

訪問して代表者と面接した会社もあるが、社是等は、形式的なものではなく、それを社内外に公表しており、経営の中に生きていた。

社是等の重視は、人間として大きな「理念」の継続を表しており、それを内外に示し、責任感のある経営を行う企業であってこそ、地域の中で活動し、地域の活性化に資することができる沖縄を強くする企業である。

代表者の最重要役割は？（人財の育成こそ代表者の役割）



コメント

経営者の最重要と考えられる役割は「人財の育成」と回答した会社が 43.8%と第一位である。人財の育成は単に儲けるという短期的な思考ではなく、企業を続けて行くという企業の存続の視点と考えられる。また、第二位は「スピード経営」となっているが、経営者の決断の重要性、特に現在の景況における、経営者の即断即決、強いリーダーシップが要請される現況と符合する回答だと思われる。

（お知らせ）

次回のファミリービジネス研究所沖縄本部の地区会議を、福岡本部と合同で沖縄の北部で開こうという提案が東京本部の小西先生と大澤様からありました。

スケジュールの概要は次の通りです。具体的に決まりましたらご案内致しますので、企業存続の上で、何かを考えさせる有意義な会議となると思いますので是非ともご参加下さい。

平成 22 年 2 月 20 日（土曜日）

13:30— 比嘉会長によるウェルカムスピーチ

13:40— 沖縄 FB オーナーによる基調講演 未定 14:40～15:00 休憩

15:00— 福岡 FB オーナーによる基調講演 未定 16:00～16:20 休憩

16:20— FB に関する自由討議（事業承継、地域における役割、今後の九州沖縄の合同活動等） 18:00 終了

18:30— デイナー（沖縄伝統芸能の方のスピーチ）⇒琉球漆器の前田光胤先生
平成 22 年 2 月 21 日（日曜日）

懇親ゴルフ（または自由観光、バスケットボール(うるま市)もあります) 後解散